

第1学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動 <言語活動例>		
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準	
4月		-	みんなのせかい	・絵から見つけた言葉や想像したことなどをみんなの前で話す。	4	-	○	○					【関】絵から見つけたことや想像したことを、みんなに話そうとしている。 【話聞】絵から見つけたことや想像したことを、みんなに話している。	絵から見つけたことを話したり、聞いたりする。☆
		-	はきはきあいさつ	・場面や状況に合わせた言葉遣いで、はっきりとあいさつをする。	2	-	○	○					【関】挨拶の言葉に興味を持ち、周りの人に挨拶をしようとしている。 【話聞】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話している。	場面に合わせてあいさつをする。 A(2)ウ
		-	よろしくね	・丁寧な言葉遣いで、自己紹介し合うことができる。	2	-	○	○					【関】自分の名前をはっきりと伝えようとしている。 【話聞】自己紹介という改まった場に適切な言葉遣いで話している。	
		-	じをかこう	・言葉や文字に関心を持ち、平仮名を書く。	3	-	○					○	【関】平仮名に興味を持ち、丁寧に書こうとしている。 【言】書くときの姿勢や鉛筆の持ち方、字形や筆順に気をつけて、平仮名を書いている。	
		-	ほんがたくさん	・読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を選んで読んだりする。	3	-	○					○	【関】本に興味を持って、好きな本を選び、読書を楽しもうとしている。 【読】好きな本を選んで、読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりしている。	
		-	あいうえおのうた	・語のまとまりや、音と文字とのつながりを意識して読んだり書いたりする。	5	-	○					○	【関】「あいうえおのうた」の音読や言葉集めの活動に、意欲的に取り組む。 【言】姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけて、平仮名を書いている。	本を楽しんで読む。読み聞かせを聞く。
	-	あめですよ	・言葉のリズムを楽しんで音読する。	4	-	○					○	【関】言葉のリズムを楽しんで、想像を広げながら読もうとする。 【読】語のまとまりや言葉のリズムに気をつけて音読する。	絵と文を結び、内容を想像しながら読む。☆	

1 学期	5 月	-	ふたとぶた	・言葉への関心を持って、濁音や半濁音を含む語を読み書きする。	3	-	○				○	【関】濁音・半濁音を含む語に関心を持ち、濁音・半濁音を正しく表記しようとする。 【言】濁音・半濁音を含む平仮名の語を正しく読んだり書いたりしている。		
		-	ともだちにはなそう	・見つけたものをみんなの前で話したり、友達の話を興味を持って聞いたりする。	4	-	○	○					【関】みんなの前で話す活動に、意欲的に取り組もうとしている。 【話聞】見つけたものの中から、みんなに話したいことを決めている。	知らせたいことを話したり、それを聞いたりする。
		-	とんことこん	・場面の様子を想像しながら、楽しんで読むことができる。	5	-	○					○	【関】物語を楽しみながら読み、好きなどころを見つけようとしている。 【読】人物の行動や場面の様子を想像しながら読んでいます。	物語を楽しんで読む。
		-	ねことねっこ	・言葉への関心を持って、促音を含む語を読み書きする。	3	-	○					○	【関】促音を含む語に関心を持ち、促音を正しく表記しようとする。 【言】促音を含む平仮名の語を正しく読んだり書いたりしている。	
		-	ことばあそび	・語や文字について関心を高め、平仮名の読み書きに習熟する。	3	-	○					○	【関】言葉遊びに興味を持ち、楽しんで取り組もうとする。 【言】言葉遊びの決まりに合った言葉を探して、正しく平仮名で書いている。	
	-	あひるのあくび	・言葉のリズムを楽しみながら詩を音読し、五十音図について理解する。	4	-	○					○	【関】五十音図に興味を持って、「あひるのあくび」や五十音図を読もうとしている。 【言】五十音図の特徴を理解し、正しく読み書きしている。	語のまとまりに気をつけて音読する。☆	
	-	ぶんをつくろう	・主語と述語の関係に注意して、「ーがーする。」の形の文を書くことができる。	3	-	○					○	【関】助詞「が」を使って文を書こうとする。 【書】主語と述語のつながりを考えて文を書いている。 【言】主語と述語の関係や句点の使い方を理解している。	主語と述語のつながりを考えて文を書く。☆	
	-	おばさんとおばあさん	・長音を正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○					○	【関】長音を含む語に関心を持ち、長音を正しく表記しようとする。 【言】長音を含む語を正しく発音したり読み書きしたりしている。		

6月	-	きいてつたえよう	・だいたいなことを落とさないように聞き、ほかの人に伝えることができる。	2	-	○				○	【関】連絡の必要性を意識し、聞いたり伝えたりしようとしている。 【話聞】だいたいなことを落とさないように気をつけて聞き、メモを書いている。	必要なことについて身近な人と連絡し合う。	
	-	「は」「を」「へ」をつかってぶんをかこう	・助詞「は」「へ」「を」を正しく使って、文を書く。	4	-	○			○	○	【関】助詞「は」「へ」「を」を使って文を書こうとする。 【書】語と語のつながりを考えて文を書いている。 【言】助詞「は」「へ」「を」を正しく使って文を書いている。	語と語の続き方に注意してつながりのある文を書く。☆	
	-	どうやってみをまものかな	・書かれている内容を正しく読み取る。	6	-	○				○	【関】動物の身の守り方に興味を持ち、正しく読み取ろうとする。 【読】文章のまとまりをとらえ、問いかけの文とそれに対する説明の内容を正しく読み取っている。	事物の仕組みなどについて説明した文章を読む。C(2)ウ <動物のしょうかいカード>	
	-	いしやといしや	・拗音を正しく読み書きして、言葉への関心を持つ。	3	-	○					○	【関】拗音を含む語に関心を持ち、拗音を正しく表記しようとする。 【言】拗音を含む語を正しく発音したり読み書きしたりしている。	
	-	こんなことしたよ	・経験したことから題材を選び、文章に書いて知らせる。	4	-	○					○	【関】自分の経験したことや感じたことを振り返り、伝えようとする。 【書】相手意識を持ち、主述の照応や句読点の表記などに注意して、文章を書いている。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ
7月	-	おおきなかぶ	・様子を想像しながら、お話のおもしろさを楽しく読む。	8	-	○				○	【関】お話に興味を持ち、場面の展開を楽しんで読もうとする。 【読】次々に人物が加わる様子や、かぶが抜けたときの気持ちを想像して読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア <登場人物への手紙>	
	-	ほんのひろば	・読みたい本を探して読み、読書を楽しむ。	1	-	○					○	【関】読みたい本を見つけようとする。 【読】読みたい本を選んで、読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア
	-	えにっきをかこう	・生活の中で経験したことを絵日記で伝える。	4	-	○					○	【関】心に残った経験を思い出し、絵と文章で伝えようとする。 【書】どんな出来事かが伝わるように、絵と文章で表現している。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ

2 学期	9 月	-	あるけあるけノ木	・詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。	3	-	○			○	【関】詩に興味を持ち、楽しんで音読しようとする。 【読】はっきりした発音で音読している。言葉の響きを楽しんだり様子を想像したりしながら音読している。	言葉の響きに気をつけて音読する。☆		
		-	はなしたいなききたいな	・夏休みの出来事の中から伝えたいことを話す。話を聞いて感想を述べたり質問したりする。	5	-	○	○				【関】夏休みの思い出を楽しく話したり聞いたりしようとする。 【話聞】夏休みの出来事について、3文程度ではっきりと話している。友達の話、興味を持って聞いている。	経験の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたりする。A(2)ア	
		-	かんじのはなし	・漢字の成り立ちに興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	5	-	○				○	【関】漢字の成り立ちに興味を持ち、漢字を使おうとする。 【言】漢字の読み方、書き方を知り、正しく使っている。	内容を考えながら読む。☆	
		-	かいがら	・様子を思い浮かべながらお話を楽しく読む。	6	-	○				○	【関】お話を楽しく読もうとする。 【読】文と挿絵をつないで、様子を思い浮かべながら読んでいる。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア ＜登場人物への手紙＞	
		-	かぞえうた	・漢字に対する興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	5	-	○				○	【関】漢数字やもの数え方に興味を持ち、漢字を使おうとする。 【言】漢数字の読み方、書き方を知り、正しく使っている。	言葉の響きに気をつけて音読する。☆	
	10 月	1 おはなし をよもう		サラダでげんき	・人物が登場する順序に注意し、だれが何をしたかに気をつけて読む。	15		○			○	【関】お話に興味を持ち、楽しんで読もうとする。 【読】人物の登場する順序や人物の行動に気をつけて、想像を広げながら読んでいる。 【書】伝えたいことをはっきりさせて、手紙を書いている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア ＜おすすめカード＞	
				かたかなをかこう	・片仮名の書き方を理解し、片仮名表記する言葉を集めて短文を書く。	3		○				○	【関】片仮名に関心を持ち、片仮名で表記する言葉を集め、書こうとする。 【言】片仮名の表記の仕方を理解し、片仮名で表記する言葉を書いている。	語と語の続き方に注意しながら、つながりのある文を書く。☆
				ほんはともだち	読書に興味を持ち、楽しんで物語を聞いたり本を読んだりする。	2	30		○			○	【関】物語を楽しんで聞こうとしたり、自分の読みたい本を探して読もうとする。 【読】楽しんだり知識を得たりするために、本を選んで読んでいる。	多様な本を楽しんで読む。

		わたしのはっけん	・身の回りのものをよく見て、気づいたことを文章に書く。	7		○				○		【関】観察したことをカードや文章に書き、伝えようとする。 【書】動植物の様子をよく観察して、書くために必要な材料を集め、言葉や文のつながりを考えて文章を書いている。	観察したことを記録する文章を書く。B(2)イ 〈1ねん しぜんこうえん〉	
		よう日と日づけをおぼえよう	・日付と曜日の呼び方や漢字表記を理解し、正しく読み書きする。	3		○				○		【関】日付と曜日の呼び方と漢字表記に興味を持って使おうとする。 【書】語と語の続き方に気をつけて、つながりのある文を書いている。 【言】日付や曜日の漢字を、正しく読んだり書いたりしている。	語と語の続きに注意しながら、つながりのある文を書く。☆	
11月	2 のりもの のことをしら べよう	いろいろなふね	・書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取る。	13	35	○				○		【関】乗り物に興味を持ち、進んで調べようとする。 【読】文章に書かれている内容を、「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに正しく読み取っている。 【読】文章に書かれている内容を、「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに正しく読み取っている。	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むC(2)ウ 〈乗り物カード〉	
		おもい出してかこう	・経験したことを思い出して、順序よく書く。	8		○					○		【関】経験したことを思い出して、文章に書こうとする。 【書】したことの順序に沿って、そのときの様子や気持ちを思い出して書いている。	経験したことを報告する文章を書く。B(2)イ
		「好きなものクイズ」をしよう	・伝えたいことをはっきり話したり、聞いたことについて質問したりして対話をする。	8		○					○		【関】好きなものについて興味を持って話し合おうとする。 【話聞】好きなものに関するヒントをはっきりと話したり、分からないことを質問したりしている。	尋ねたり応答したりする。A(2)イ 〈好きなものクイズ発表会〉
		ことばあそびうたをつくろう	・言葉遊びのおもしろさを知り、自分で考えた言葉遊びうたを作る。	6		○					○		【関】言葉遊びのおもしろさを味わい、言葉遊びうたを作ろうとする。 【書】言葉を選んで言葉遊びうたを作り、互いの作った言葉遊びうたについて感想を伝え合っている。	言葉遊びうたを作り、感想を伝え合う 〈ことばあそびはくぶつかん〉
12月		ことばあそびうたをつくろう	・言葉遊びのおもしろさを知り、自分で考えた言葉遊びうたを作る。	6		○			○		【関】言葉遊びのおもしろさを味わい、言葉遊びうたを作ろうとする。 【書】言葉を選んで言葉遊びうたを作り、互いの作った言葉遊びうたについて感想を伝え合っている。	言葉遊びうたを作り、感想を伝え合う 〈ことばあそびはくぶつかん〉		

3 学期	1 月	3 いろいろ なおはなしを よもう	おとうとねずみチ 口	・様子を思い浮かべながら読み、いろいろなお話を読み広げる。	17	34	○	○	○	【関】お話を楽しくて読もうとする。 【読】読みたい本を選び、場面の様子を思い浮かべながら楽しんで読んでいる。 【書】語と語、文と文の続き方に気をつけて、お話のおもしろかったところを書いている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア 〈おはなしハウスカード〉	
			しをよもう みみずのたいそう	・詩を声に出して読み、言葉の響きやリズムを楽しむ。	2		○		○	【関】詩を読むことに興味を持ち、音響の響きやリズムを楽しんで詩を読んでいる。 【読】言葉の響きやリズムを楽しみながら、詩を音読している。		
			むかしばなしをた のしもう	・昔話の読み聞かせを聞いたり、自分でよんだりして楽しむ。	6		○		○	○	【関】昔話の好きなところを進んで話そうとする。 【読】好きな昔話を選び、楽しんで読み聞かせを聞いたり自分でよんだりしている。 【言】昔話を聞いたりよんだりして親しみ、おもしろかったところを友達に話している。	物語の読み聞かせを聞く。C(2)イ
			おはなしをつくろう	・人物と出来事を考えて簡単な物語を書く。	9		○		○	【関】物語作りに興味を持ち、「ももたろう」の話を想像豊かに書き換えようとしている。 【書】「ももたろう」の話をもとに、想像を膨らませながら、事柄の順序に沿って話の筋を考えている。	昔話をもとにして、新しい物語を書く。 B(1)イ 〈せかいに1つだけのおはなしをつくろう〉	
	2 月	4 いろいろ なやりかたを くらべてかん がえよう	歯がぬけたらどう するの	・じぶんならどうするかを考えながら読む。	13	16	○		○	【関】いろいろな国のやり方に興味を持ちながら読み、見方を広げようとする。 【読】込められた思いを想像し、自分ならどうしたいか考えながら読み取っている。	本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。C(2)ア	
			「じゃんけんやさん」をひらこう	・新しいじゃんけんを考えて、その仕組みを分かりやすく説明する。	10		○	○	【関】じゃんけんを作って説明する活動に興味を持って取り組もうとする。 【語聞】大事なことを落とさずに、順序に気をつけて分かりやすく説明している。	事物の説明をしたり、それらを聞いて感想を述べたりする。A(2)ア 〈じゃんけんやさん〉		
			まとめてよぶこと ば	・仲間になる言葉を集め、それらをまとめて呼ぶ言葉について理解する。	3		○		○	○	【関】「仲間になる言葉」に興味を持って集めたり、「まとめて呼ぶ言葉」を考えたりしようとする。 【書】語と語の続き方に気をつけて、つながりのある文を書いている。 【言】語の上位概念、下位概念の関係について理解している。	語と語の続き方に注意しながら文を書く。☆

3月	5 こえに出してよもう	スイミー	・物語の中から自分の好きなどところを見つけ、音読で表現する。	16	27	○			○	<p>【関】物語の好きなどところを見つけ音読をするという活動に、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【読】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p> <p>【読】好きなどところについて想像したことが伝わるように、音読で表現している。</p>	物語の好きなどところを音読する。 〈音読プレゼント〉
		かたちのにているかん字	・形の似ている漢字を区別し、正しく読み書きする。	3		○		○	○	<p>【関】字形の似た漢字に興味を持って、漢字を集めようとしている。</p> <p>【言】漢字の字形を意識して、類似点や相違点を捉えている。</p>	語と語の続き方に注意しながら文を書く。☆
		「おもいでブック」をつくろう	・1年間を振り返り、心に残った出来事を、様子がわかるように文章に書く。	8		○		○		<p>【関】1年間の出来事を振り返り、新しい一年生に伝える文章を書こうとする。</p> <p>【書】出来事の様子や自分の気持ちを思い出し、事柄の順序に沿って文章を書いている。</p>	一年間に書いた文章を読み返し文集にまとめる。